



1 年学年だより

発行日：令和 8 年 6 月 30 日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：二上 直子 NO. 3



なぜ、人は感動するのか

—合唱コンクールを終えて—



校長代理 海部 祐喜子

梅雨の合間に夏の気配を感じる季節となりました。6月11日（木）に、横浜みなとみらいホールにて合唱コンクールが開催されました。中学1年生は学年として、中学2・3年生は各クラスの個性が光る素晴らしい発表となりました。私は審査員として会場中央付近で歌声を聴きながら、「なぜ人は感動するのだろうか」と改めて考えていました。

開会式でもお話ししたとおり、今回はコンクールであるため順位はつきませんが、各クラスが目指した音楽は唯一無二のものです。自分たちの合唱が成功だったかどうかは、自分たち自身が決めるものです。掲げた目標に照らし、どうであったかを大切にしてほしいと思います。

限られた練習時間の中で、音程を合わせることに苦勞したクラスや、意見がぶつかり合った場面もあったことでしょう。それでも仲間と工夫を重ね、一つの歌を作り上げた過程そのものに大きな価値があります。

合唱の醍醐味は数多くあるでしょうが、私はこの二つだと思っています。

一つは「歌詞」があること。器楽曲にも大きな感動がありますが、合唱では言葉が音楽に乗りまします。希望や友情、葛藤や成長といった思いが、旋律とともに直接聴く人の心へ届いてきます。中高生という多感な時期だからこそ、歌詞の一つ一つが自分自身の経験や願いと重なり、より深く響くのでしょう。

もう一つは、開会式でもお伝えした「道具を使わず、声だけで人の心を動かす。歌は人類の偉大な発明の一つだと思う」という「人の声だけで音楽を作る」こと。呼吸も、響きも、強弱も、すべて人間の身体から生まれます。一人ひとりの異なる声が重なり合い、やがて一つの響きとなって会場を満たしていきます。その過程には機械では生み出せない温もりがあります。

学生時代、指揮者の先生から教わった言葉があります。ドイツの指揮者フルトヴェングラーは、「感動は人と人との間にある」という趣旨の言葉を残したそうです。演奏する人同士、そして聴く人との心が触れ合うところに感動が生まれるのだと、私は受け止めています。

今回の合唱コンクールでは、その言葉を思い出しました。舞台の上には緊張しながらも真剣な表情で歌う生徒たち。その姿を見守る先生方がいます。そして客席には家族や友人がいます。それぞれの立場で過ごしてきた時間や思いが、歌声を通して一つにつながる瞬間があります。感動は、誰か一人が作るものではありません。多くの人の思いが交わることで生まれるのだと思いました。

私自身も歌声に胸が熱くなり、思わず涙がこぼれました。なぜ、涙が出てきたのでしょうか。私なりの答えは、「歌の向こう側に、そのクラスが過ごしてきた時間が聴こえたから」です。本番の数分間の歌声の中には、何度も繰り返した練習があります。うまくいかなかった日もあります。励まし合った言葉もあります。仲間と過ごしたかけがえのない時間があります。その目には見えない努力や成長が、歌声となって私たちの心に届いたのだと思います。

だからこそ私たちは感動するのでしょう。美しい音だけにではなく、その音に込められた人の思いに。そして、一人では決して生み出せない響きを仲間とともに作り上げた子どもたちの姿に。

今年の合唱コンクールは、音楽の素晴らしさだけでなく、人と人がつながることの尊さを改めて教えてくれました。また、文化委員の皆さんが中心となって準備・運営を担ってくれました。朝早くからの準備や終了後の後片付けまで、本当によく頑張ってくれました。合唱できる喜びは、こうした多くの支えがあってこそ成り立つものです。心から感謝します。

さらに、横浜みなとみらいホールという素晴らしい文化施設を活用できたのも、保護者の皆様のご協力のおかげです。改めて深く御礼申し上げます。

『大空へ声を響かそう』合唱コンクール！



15期の「学年ページ」です。

6月11日に、みなとみらいホールにて合唱コンクールが行われました。「一つの曲を、協力し工夫しながら作り上げる過程を通して、より良いクラス、学年、及び学校をつくること」を目的としています。

中学1年生は、1学年全体として『校歌』と『空は今』の2曲を歌いました。160人の声を、みなとみらいホールという素晴らしい舞台上、全力で響かせることができました！

『合唱コンクールまでの道のり』

15期生は、5月上旬から合唱コンクールまで、ほぼ毎日練習を行いました。7割が各クラスで、3割は学年全体の練習でした。文化委員を中心に音取り練習や各パートの練習をしました。学年合唱練習では、音楽の先生からアドバイスをいただいたり、指揮者、伴奏者から意見をもらったりしました。そのうえで、全体の練習を通して歌った後も意見をみんなで出し合い、より良い響きになるよう頑張っていました。お互いのことを支え合いながら練習を重ねていきました。一致団結できるとても素敵な学年です！



『いよいよ当日！』

先輩たちや保護者の前で、緊張しながら歌いきったみなさんでしたが、先輩たちから「すばらしい！」「音の強弱を意識しながら歌えていてカッコよかった！」「各パートのハーモニーがよかった」など心あたまる褒め言葉をたくさんいただきました。中学1年生の皆さんにとって、これからの合唱コンクールへのモチベーションになったことでしょう。



ランチタイムの様子です。

たくさん頑張ってくれた文化委員からのメッセージ

文化委員のみなさんは、初日から本番まで様々な準備を行いました。自分たちの昼休みを使って練習の日程調整をしたり、学年ページの収集をしたり。また、毎回の練習を運営することも役割でした。

15期の文化委員は、初めてのことがたくさんあるのにもかかわらず積極的に取り組むことを意識しました！それでは、たくさん頑張ってくれたみなさんからのメッセージです。

『成果を次に』

1年1組

5月8日から合唱コンクールへの練習が始まりました。最初は音が取れない部分も多くありましたが、本番には全員がほとんどとれるようになりました。これは個人個人の練習のおかげだと思います。

みなさんは、合唱練習を楽しみながら続けることはできましたか。時には面倒だなと思ったこともあったかもしれません。しかし、実際は合唱コンクールの日まで、練習に参加し続け上達してきました。そんな自分たちを誇りに思っているのではないのでしょうか。

学年全員で歌うのは今回が初めて最後でした。学年で歌った時、どう感じましたか。この合唱コンクールで何を得ましたか。私たち文化委員としての仕事は大変でしたが、無事合唱コンクールを成功に終えた今は、やりがいがあったと感じています。この合唱コンクールで得たことを、今後に活かしていきましょう。

『団結した合唱コンクール』

1年2組

6月11日に行われる合唱コンクールに向けての合唱練習では、練習に積極的でない人たちをまとめて、できるだけ多くの時間、練習できるようにすることが一番苦労しました。また、よりよい合唱にするために、毎回歌うごとに振り返りをし、クラスの改善点をはっきりさせて団結力を高められるようにもしました。

本番の合唱コンクールでは何度も行った練習を生かして歌いきりました。先生からの講評では「花丸百点」をもらうこともできて、学年全員が喜んでいて、学年全員が一つになることができたと思っています。

私たちの目標は「歌を上手に歌い、その過程や達成後に学年、クラスが一つになっているようにする」ことであったので、練習でクラスをまとめることに苦労しつつも目標を達成できてよかったです。文化委員も学年も満足な気持ちで合唱コンクールを終えることができました。

『文化委員、全力疾走ゴール』

1年3組

1年3組文化委員のとです。入学してからバタバタの2か月間、あっという間に過ぎてしまいました。合唱コンクールが終わって、ひとまずほっとしています。

さて、そんな合唱コンクールですが、楽なことばかりではありませんでした。練習の日程決めや、毎回の練習の円滑な進行のために、文化委員で何度も集まりました。初めのうちは合唱練習に本気で取り組めていない人がいましたが、回数を重ねていくごとに、合唱だけでなく取り組む姿勢もどんどんよくなっていきました。そして迎えた本番、学年全体で一つとなった合唱を全校に届けることができました。文化委員としても舞台裏を駆け回り、とても充実した一日になりました。

このように、当日までに様々なことがありました。その全てが私たちにとって最高の思い出です。来年はクラスごとの合唱になりますが、貴重な先輩方の合唱を参考に、今年以上に思いっきり頑張りたいと思います。

『苦勞の先に見えたもの』

1年4組

文化委員の仕事で苦勞したことは、委員会での活動時間が長かったことや、合唱練習の日程調整が大変だったことです。私たちは、事前に楽譜の隅々まで目を通しましたが、合唱練習は、学年みんなの昼休みや放課後の時間を使ってしまうため、クラスのみならず、反発が多く出て、練習などしてくれないのではないかと心配でした。

しかし、クラスみんなは、真面目に合唱練習をしてただけでなく、お互いのアドバイスや、私たちのアドバイスも聞いてくれました。みんなが、合唱をよりよいものにできないかと必死に頑張ってくれていることは、私たちの大きな励みになりました。また、パート別での練習後に、先生から「ありがとう」と感謝を伝えてもらえることも、とても嬉しかったし、大きなやりがいになりました。

文化委員の仕事を通して、人のために動くことの楽しさや、やりがいを感じました。来年も人のために動ける委員会に挑戦して、活動に貢献したいです。

『協力の成果を歌にのせて』

1年5組

大きなトラブルもなく、無事に合唱コンクールを終えられて本当に良かったと思います。今振り返ると、委員の仕事はとてもやりがいがあり、楽しく行えたと思っています。

特に合唱練習では、みんなで意見を交流することによって、音程や強弱がどんどん上達していき、練習の進行を任されていた私たち文化委員はその対応力に驚きました。「私たちも負けていけない！」と張りきって練習したのを覚えています。本番では、練習をしてきた中で、1番上手な合唱を披露できたと、とても満足しています。みなさんもやりきれたのではないのでしょうか？当日も、文化委員の仕事はドタバタでしたが、何とか終わらせることができました。

来年からは、クラス対抗になるため、今年以上に全力で練習に励みたいです。また、文化委員として、今年よりもスムーズに仕事を進められるよう頑張りたいです。